

福岡から診る大気環境研究所研究会

2015年7月25日(土) 9:45-16:00

福岡大学中央図書館ホール

プログラム

9:45 ~ 9:50

開会挨拶

林 政彦 (福岡大学)

9:50 ~ 10:50

2015年春季、蛍光ライダーで観測された黄砂・PM_{2.5}の光学特性

白石浩一 (福岡大学)

福岡でのエアロゾル光学特性の地上連続観測

内山明博 (国立環境研究所)

福岡市における大気微量成分の時空間不均質性~MAX-DOAS法による分光観測

高島久洋 (福岡大学)

福岡市におけるエアロゾル化学組成と質量濃度の連続観測

高見昭憲 (国立環境研究所)

11:00 ~ 12:30

福岡(太宰府)におけるPM_{2.5}金属成分の通年データからローカル発生と長距離輸送分を分別する試み

兼保直樹 (産業技術総合研究所)

福岡の大気質：局所発生と越境輸送

原圭一郎 (福岡大学)

福岡におけるエアロゾルの表面積濃度の測定—初期データ—

奥田知明 (慶応義塾大学)

電子顕微鏡を用いたエアロゾルの組成分析

財前祐二 (気象研究所)

偏光OPCによる越境輸送された大気エアロゾル粒子の観測

小林拓 (山梨大学)

南極S17における気球分離型無人機によるエアロゾル観測について

東野伸一郎 (九州大学)

14:00 ~ 15:15

ダスト沈着量測定(ドラエモン-II)で得られた結果概要

長田和雄 (名古屋大学)

福岡市における大気及び降水中の水銀の連続観測

丸本幸治 (国立水俣病研究所)

異なる環境下におけるバイオエアロゾルと健康について

能田淳 (酪農学園大学)

大気汚染物質と眼病変

高良太 (福岡大学)

研究計画—黄砂の諸特性と結膜炎との関係解明に向けて

西田千春 (福岡大学)

15:15 ~ 16:00

総合討論

戦略的研究基盤形成事業への応募など

林政彦 (福岡大学)